

# プラスチック削減・食品ロス削減に 向けた取り組み

令和元年度 会員限定

## 循環・3Rリレーセミナー

～対応が進む日本の資源循環(プラスチック・食品ロス削減等)～

2020年2月  
株式会社セブン-イレブン・ジャパン

# ■ セブン&アイホールディングスについて



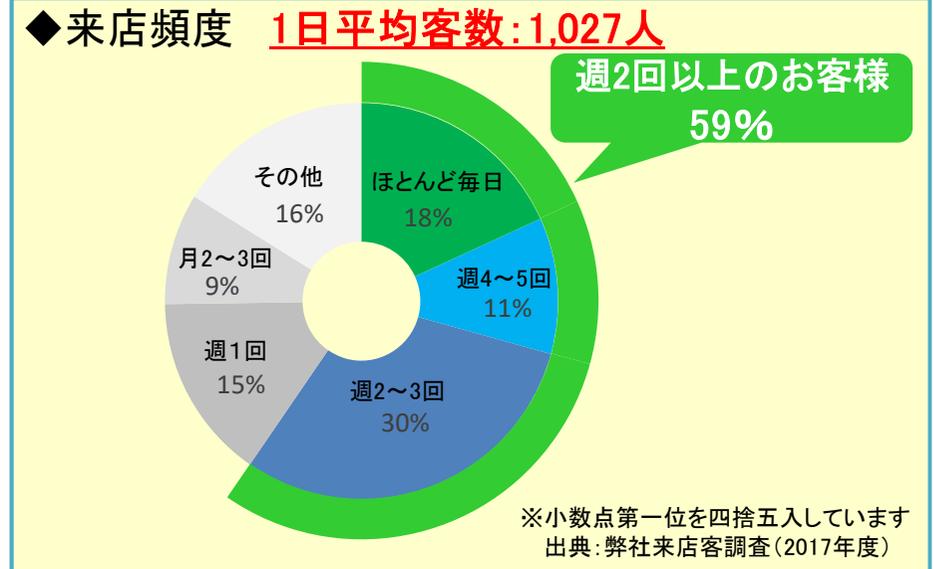
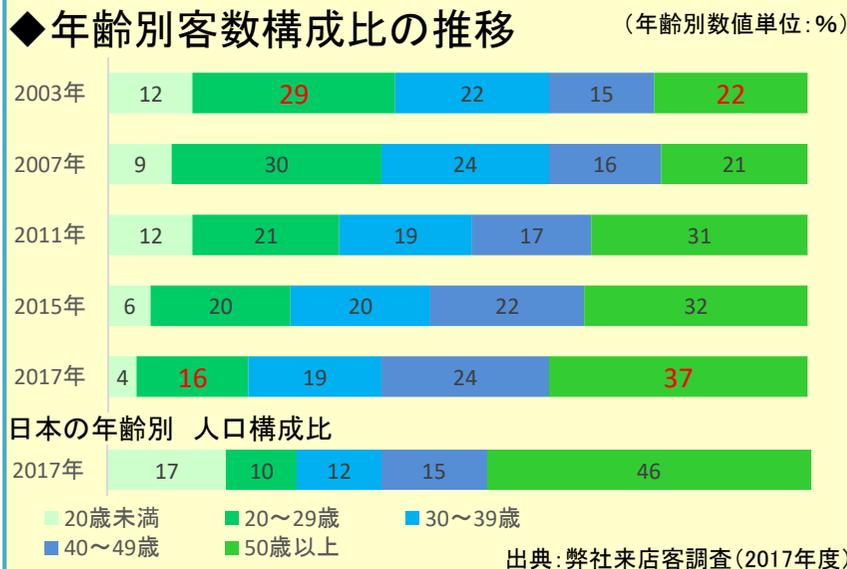
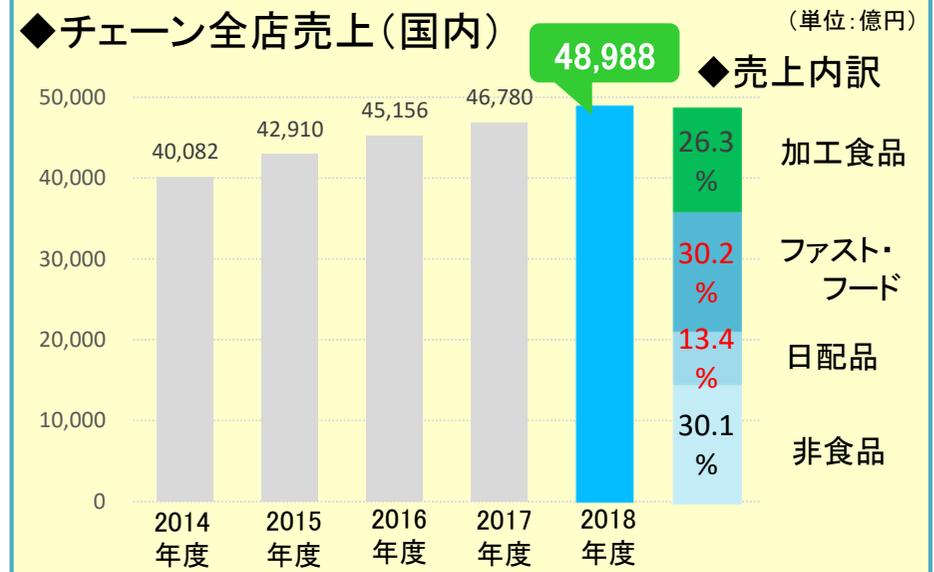
お客様に密着した小売業を中心に、7つの領域で事業を展開しています





# セブン-イレブン・ジャパンについて

【会社概要】株式会社セブン-イレブン・ジャパン 代表者:代表取締役社長 永松 文彦  
設立:1973年11月20日 社員数:9,092人 資本金:172億円 ※19年2月末現在



# ■ セブン-イレブンの創業理念

## 創業当時の社会情勢（1973年頃）



### ◆時代背景

#### ・大型店の台頭

大量生産・大量仕入れ・  
大量販売 ⇒ 売手市場  
**スーパーマーケット成長期**

・郊外型商業施設の増加  
商店街の空洞化

・第一次オイルショック後  
売り惜しみ・買占め

### ◆中小小売店の悩み

#### ・家族経営中心・低い労働生産性

売上低迷 ⇒ 従業員が雇用できない  
⇒ 家族経営 ⇒ 価格競争 ⇒ 利益減少

・問屋から、欲しい商品が仕入れられない  
仕入ロットも大きい(ケース単位)

#### ・情報が不足

何が売れているかわからない、情報量の不足

**【 負のスパイラル 】**

大型店の出店で  
経営が厳しくなった

将来に対する不安  
家族経営の限界

時代の変化に伴い  
苦境に立たされていた  
中小小売店

中小小売店の  
近代化と活性化

大型店との  
共存共栄

セブン-イレブンの  
**【創業理念】**

# ■ セブン-イレブンのフランチャイズシステム



独立した事業者同士が、対等の関係で行う共同事業



- 人のマネジメント  
(採用・教育・人事管理など)
- 商品のマネジメント  
(発注・品揃え・在庫管理など)
- 経営数値のマネジメント  
(売上・経営管理など)

地域に根ざした経営に専念



- 店舗・販売設備の貸与
- 経営相談サービス
- 商品開発・物流サービス
- 情報システムサービス
- 広告宣伝活動
- 会計簿記サービス
- 水道光熱費8割、廃棄15%負担
- 自動融資制度・最低保証制度他

加盟店の経営をバックアップ



疲弊した中小小売店が大型店と共存共栄できる体制を支援

# ■ 1号店開店(1974年)



1974年5月15日  
東京都江東区豊洲

セブン-イレブン1号店  
開店



目指すは、

中小小売店の  
近代化・活性化





# 挑戦の歴史

共存共栄

中小小売店の  
近代化と活性化

<変化へ対応>

世の中、社会の要請  
お客様が不便に感じることを解決



顧客満足度の向上



客数・売上・利益の向上



中小小売店と大型店との共存



地域社会に対する貢献

年	世の中の課題に対する主な取り組み(抜粋)
1973	株式会社ヨークセブン設立
74	セブンイレブン豊洲店開店
75	24時間営業開始
76	小分け配送・共同配送開始
79	専用ネットワークによるオンラインシステム開始
81	宅配便受付サービス開始
82	POSシステム導入、バーコード印刷推進
87	東京電力料金収納業務開始
96	発注における気象情報システムを全店で導入
2000	セブンミール開始
01	保存料・合成着色料を使用しないオリジナル商品
01	セブン銀行設立・ATM設置
07	プライベートブランド「セブンプレミアム」販売開始
09	行政証明書交付サービス開始
11	移動販売「あんしんお届け便」開始
15	「オムニ7」開始
18	セブンイレブン アプリ開始

## ■ 国内における環境変化

### 高齢化

郊外まで買物に行きにくい  
交通弱者の増加

### 単身・高齢世帯の増加

高齢夫婦、独居世帯の増加  
世帯人数の減少

### 女性の社会進出

家事や買物にかけられる  
時間の減少

### 小売店舗数の減少

近所で買物できる場所が減っている

### 拠点の空洞化

サービス窓口・サービス拠点の減少

**【社会的課題】**



**【お客様ニーズ】**

事業を通して、社会課題の解決に寄与する事が、当社の社会的責任

# ■ フランチャイズ本部としての責任



対 **加盟店**

対 **お客様**

対 **環境・社会**

**収益の向上**

**利便性提供**

**持続可能性**  
(サステナビリティ)



**お客様にご支持を  
頂ける店作り支援**

**差別化された品質  
利便性・サービス**

**CSR/SDGs  
エシカル消費**

お客様にご支持いただける商売の環境を整え、加盟店を支援し続ける使命

# ■ セブン-イレブン 5つの重点課題



5つの重点課題	主な取り組み・サービス	対応するSDGs目標
<p>高齢化、人口減少時代の <b>社会インフラの提供</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お届け・移動販売サービス</li> <li>・地域における見守り協定の締結</li> <li>・ATM・行政証明書交付サービス</li> </ul>	
<p>商品や店舗を通じた <b>安全・安心の提供</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存料、合成着色料不使用</li> <li>・コールドチェーン</li> <li>・日本デリカフーズ協同組合</li> </ul>	
<p>商品、原材料、エネルギーの <b>ムダのない利用</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品寄贈による社会貢献活動</li> <li>・食品ロス・食品リサイクル対応</li> <li>・太陽光発電パネル・LED化</li> </ul>	
<p>社内外の<b>女性、若者、 高齢者の活躍</b>支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セブンなないろ保育園</li> <li>・シニア向け「お仕事説明会」</li> <li>・職場体験・スチューデントシティ</li> </ul>	
<p>お客様、お取引先を巻き込んだ <b>エシカルな社会づくりと 資源の持続可能性</b>向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型ペットボトル回収機の設置</li> <li>・環境に配慮した包装パック</li> <li>・セブン-イレブン記念財団</li> </ul>	

持続可能な社会の実現のために、優先順位を決めて展開中



GREEN  
CHALLENGE  
2050 私たちの挑戦で、  
未来を変えよう。

(2019年5月8日発表)

4つのテーマを定め、2050年までに目指す姿を設定し宣言

セブン&アイ・ホールディングスは、  
サプライチェーン全体で、さらなる環境負荷の低減を推進し、  
未来世代に繋ぐ豊かな地球環境の保全に取り組みます。

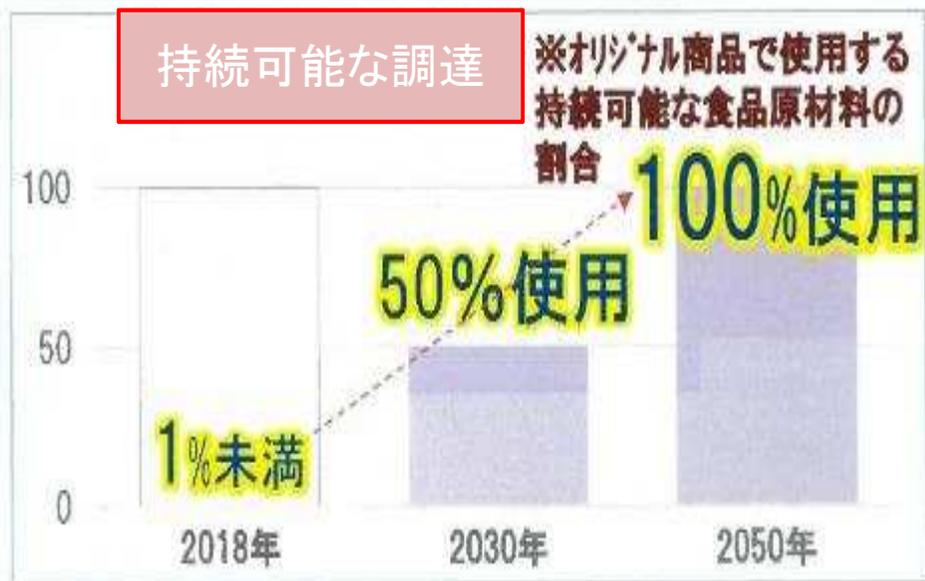
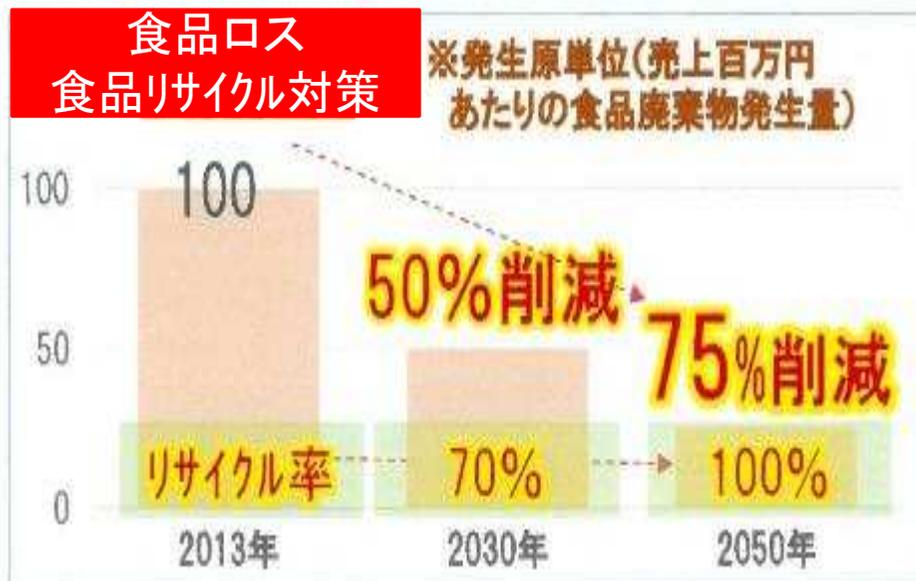
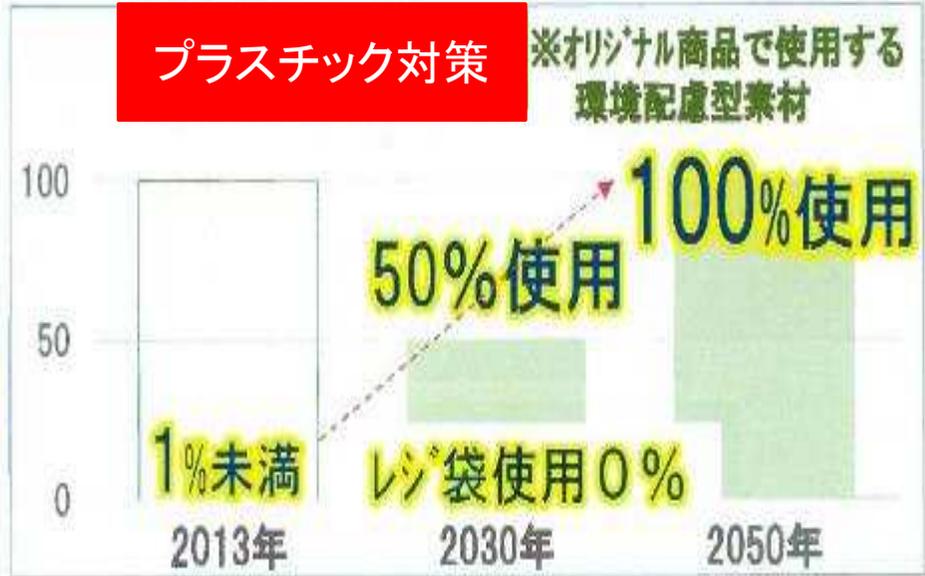
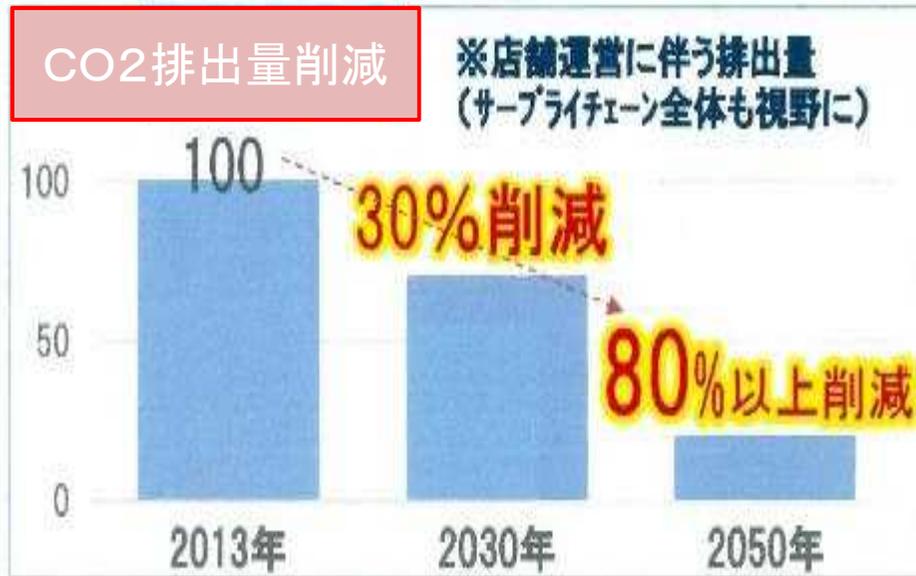
CO2排出量削減

プラスチック対策

食品ロス  
食品リサイクル  
対策

持続可能な調達

# GREEN CHALLENGE 2050 4つの目標



重点的に取り組む内容を決めて、2030年・2050年目標を設定

## ■ レジ袋有料化に向けて

### 【決定事項】

- ・ 20年7月1日から化石資源由来のプラスチック製買物袋は有料化義務化
- ・ バイオマス25%以上配合、または生分解性の機能を有するもの、  
厚さ50ミクロン以上のものは有料化義務化の対象外（有料化しても構わない）

### 【目的】

- ・ 発生抑制を基本とし、消費者のライフスタイル変革を促し、過剰な使用を抑制

### 【検討中の課題】

価格、会計処理、マイバッグ持参時の対応、袋詰め、接客フロー、レジシステムの変更、棚卸、事前告知、バーコード印刷、資材調達 ……

目的はレジ袋削減⇒従業員とお客様の正しい理解⇒事前告知と接客

バイオマス30%配合  
レジ袋 全国推奨完了



20年1月～  
ハンカチ型エコバッグ推奨開始



有料化の対象外だからと言って、  
今まで通りの配布では、  
省令改正の趣旨に反する。

課題と向き合い、真正面から取り組む

# ■ セブンカフェの例



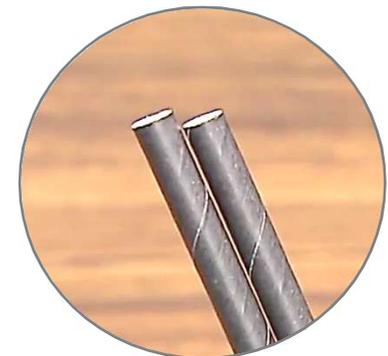
2019年8月～

ストローを使用しない  
飲み口のついた  
フタに変更



2019年11月～

(紙製ストロー)  
関東・東北  
(生分解性プラ)  
上記以外地区



# ■ セブンプレミアムにおける環境配慮型容器の採用

## Replace

**森林認証紙**  
適切に管理された森林資源を使用した紙



※SGEC (緑の循環認証会議) から掲載の許可を取得しています。

**間伐材**  
森林を健全に保つため間引きした木材を使用した紙



**バイオマスインキ**  
印刷するインキに植物由来樹脂を添加



**バイオマスフィルム**  
フィルム素材に植物由来樹脂を使用



## Reduce

**薄肉化**  
資源の使用量削減



**環境対応ラベル**  
環境対応インキ、リサイクルPETなどを用いたラベル



**脱アルミ箔**  
リサイクル可能な紙パックへ変更



**リサイクルPET**  
ペットボトルをリサイクルしたフィルム



## Recycle

品質への影響やコストなども確認しながら、可能なものから順次拡大を検討

# ■ ペットボトルのリサイクルに向けた店頭回収機の設置

## 【目的】

- |                      |     |              |
|----------------------|-----|--------------|
| ① 廃棄物の減量(容器包装リサイクル法) | ... | 最終処分場の逼迫     |
| ② 資源の有効利用(資源の国内循環化)  | ... | 輸出規制         |
| ③ CO2の排出量削減          | ... | 石油由来よりも63%削減 |
| ④ 販売量日本一企業としての販売者責任  | ... | 飲料の1割を販売     |
| ⑤ 消費者参加型リサイクルの推進     | ... | 循環型社会形成に向けて  |

**NEWS RELEASE**

**セブン&アイ HLDGS**  
株式会社 セブン・イレブン・ジャパン

消費者参加型のリサイクルを推進  
2017年11月20日

セブン・イレブンの店舗を活用した“循環型社会”構築に向けた取り組み  
**ペットボトル回収機の設置拡大**  
～12月より東京都と埼玉県のセブン・イレブン計300店舗に順次設置～

株式会社セブン・イレブン・ジャパン(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤 一博)は12月より、ペットボトル回収機の設置店舗を、東京都と埼玉県のセブン・イレブン計300店舗に順次拡大いたします。

ペットボトルの消費量は年々増加しており、資源の有効利用が課題となっています。当社は、2015年12月より、東京都内5店舗でのペットボトル回収機の設置テストを実施してまいりました。今回の取り組みを機に、国内での設置をさらに推進するために、店舗回収機に集まったペットボトルを再処理し、もう一度ペットボトルに戻す「ボトルtoボトル」を目指してまいります。

当社は、今年も店舗に集まるペットボトルを資源として、地域社会と一体になったリサイクル活動に積極的に取り組み、“循環型社会”の実現に貢献してまいります。

■コンビニ用小型ペットボトル回収機 ■資源回収リサイクル フロー図(イメージ)

【機器メーカー】株式会社専誠機工  
【機種サイズ】W650mm、D500mm、H1100mm  
【取 扱 量】500ml ペットボトル 180本

＜nanacoポイントの付与について＞  
専誠機工「nanaco」を nanaco モーダーにタッチしてからペットボトルを回収機に投入した際に、ペットボトル1本投入につき1nanacoポイントが付与されます。  
※投入されたペットボトルは重量でカウントされ、1本あたり100g未満の場合はポイント付与、nanaco ポイントを付与することにより、資源回収ペットボトルを効果的に回収し、身近な消費者参加型のリサイクルを推進します。

※この事業は環境省の「省CO2型リサイクルの実現化取組導入促進事業」に基づいた取り組みです。

## 【回収機の仕様】

- ・W65cm × D50cm × H110cm
- ・500ml換算で約180本収容
- ・センサーでペット以外を除外
- ・5本で1nanacoポイント付与



## 【展開の状況】

- ・2015年12月～  
江東区2店でテスト開始
- ・2017年12月～  
東京200店舗,埼玉100店舗
- ・2019年6月～  
**日本財団様との連携開始**  
東大和市 15店舗
- ・2019年6月～  
**再生ペット100% はじめ緑茶 発売**
- ・19年9月～  
沖縄県32店舗(20年1月)

# ■ ペットボトルリサイクルの仕組み

## <回収スキーム>



## <収取運搬の課題解決>

### <収集運搬コストの課題>

19年6月～  
東大和市×清掃事業協同組合様  
×日本財団様×SEJ 4社連携

### <役割分担>

- ・東大和市 市民への告知と啓蒙
- ・清掃組合様 収集運搬
- ・回収機費用 日本財団様ご支援
- ・加盟店 利用者への説明・保管

## <オリジナル商品の開発>

完全循環型  
PETボトルリサイクル

100% 再生PET樹脂使用ボトル  
Recycled plastic bottle



7プレミアム  
一(はじめ) 緑茶一日一本  
売価：127円

日本コカ・コーラ(株)様と共同開発

## <UNEP・G20ほかへの出展>



## ■ 食品リサイクル(23区の事例)



### <アルフォ東京工場>



### 【対象】

東京都 約1300店舗  
店舗の食品残渣を搬入

- ① エコ物流業者による責任回収
- ② (株)アルフォ  
    **フライドミール(飼料原料)化**
- ③ (株)フィード・ワン  
    **飼料化**

### < 当社の悩み >

- ① 食品リサイクル施設数の不足と自治体格差
- ② 食品リサイクル施設のキャパの不足(あっても小規模)
- ③ 処理コストの問題(運搬費用 + 処理費用)

**食品リサイクル平均単価:28円/kg 運搬車4万円/日**

全国行政処理平均単価:15円/kg

できるだけコスト負担の少ない新しい方法と、だからこそ「発生抑制」

# 発生抑制の取り組み(例)

**長鮮度商品の開発 (保存料・着色料に依存しない技術開発)**

2009年	2010年	2011年	2012年	2018年	2019年
チルド弁当	グラタン・ドリア	惣菜	スパゲティ・パスタ	サンドイッチ	サラダ
+48時間	+24時間	+24時間	+24時間	+10時間	+24時間
					寿司
					+8時間

**容量・包装の工夫**

**納品ルールの変更**

**冷凍食品拡大**

**エシカルポイント**

廃棄ロス削減 = 発注予測の向上 = 機会ロス削減

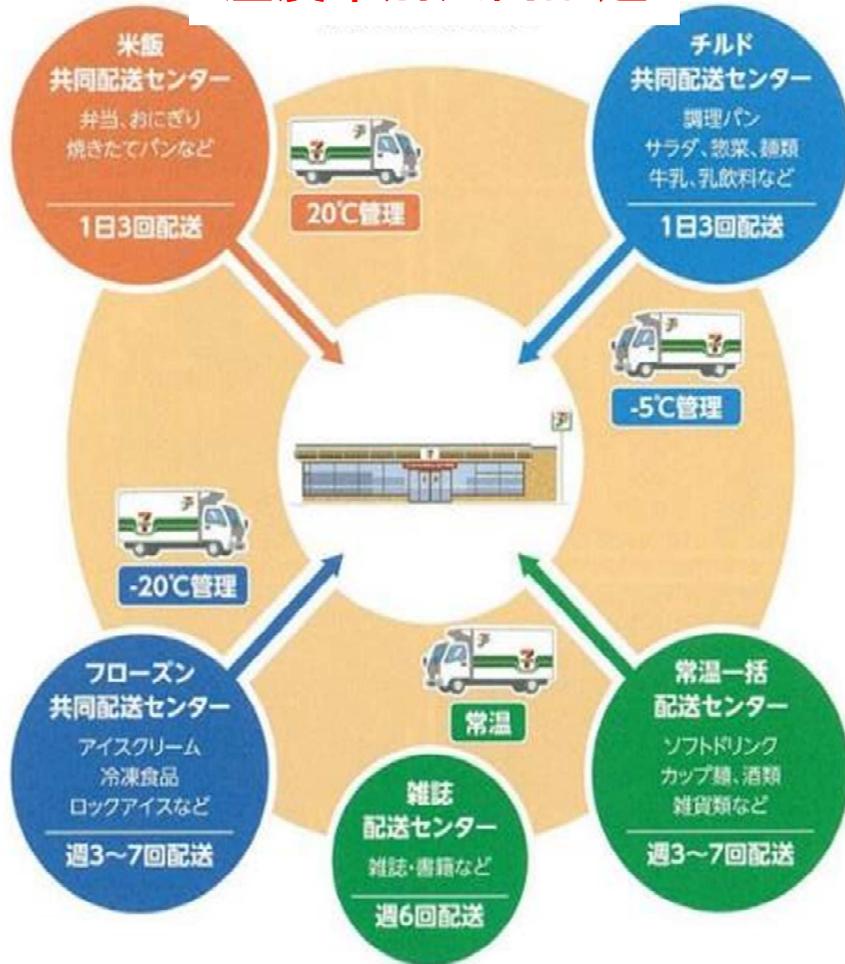
お客様から信頼されるための絶対条件

食品ロスの削減は「環境対応」と「加盟店経営」の視点からも重要課題

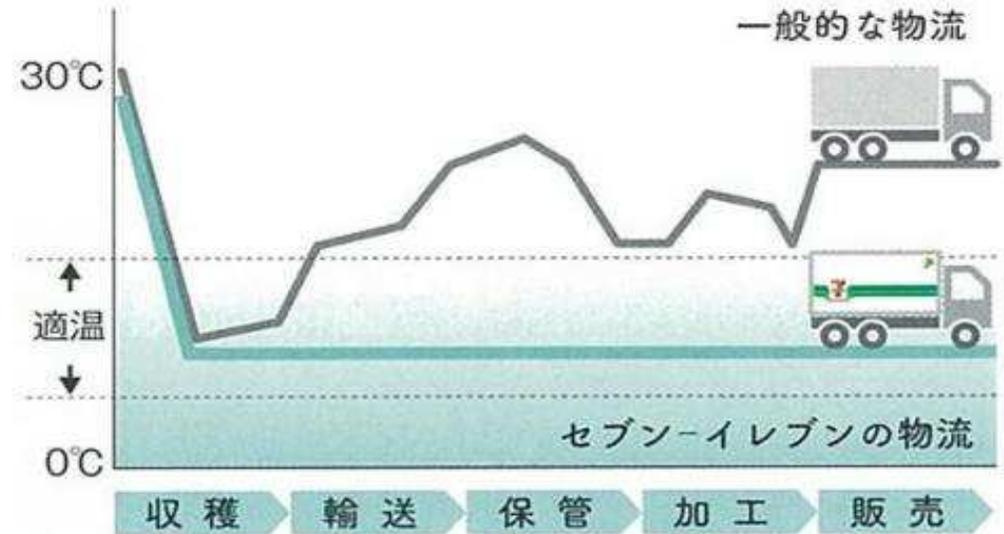
# ■ 物流ネットワーク

## 商品鮮度を保つ物流ネットワークを構築

### 温度帯別共同配送



### コールドチェーン



商品の味や品質を保つため、最適な温度帯毎に配送センターを設置して一括した配送を実施しています。

一貫して、最適な温度を維持することで、商品の劣化を防ぎ、新鮮でおいしい食材をお届けすることを可能にしました。

## 安全・安心につなげる物流システムを構築

# ■ 洗わずそのまま食べられる「彩り大根ミックス」

## 【彩り大根ミックス】



大根と緑黄色野菜をミックスした  
カット野菜。洗わずにそのまま  
いただけます。(125g)

## 【レタスマックス】



レタス、リーフレタス、トレビ  
スをミックスしたカット野菜。  
(75g)



コールスロー  
(130g)



千切りキャベツ  
(150g)

**無駄なく手間なく**

カット部分の  
残さを肥料化

食品リサイクル  
ループ



- ・ご家庭でも無駄なく食品ロスの削減につなげます。
- ・物流、包材も工夫し、鮮度の良さを維持しています。
- ・食品残さはリサイクル

生産から物流、加工、販売、ご家庭まで食品ロスの削減を目指す



NEWS RELEASE

株式会社セブン・イレブン・ジャパン  
プライムデリカ株式会社  
2018年11月28日

## セブン・イレブン初！ 専用工場一体型の『野菜工場』を開設 ～「安全・安心」な野菜を安定供給～

株式会社セブン・イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹 以下：セブン・イレブン）と、プライムデリカ株式会社（本社：神奈川県相模原市、代表取締役社長：齊藤 正義 以下：プライムデリカ）は、セブン・イレブン向け商品の専用『野菜工場』を2019年1月より稼働いたします。

セブン・イレブンでは健康ニーズが高まる中、野菜を使用した商品の取り扱いを拡大しております。その中で、プライムデリカは高品質な野菜を安定的に生産することを目的に、専用工場一体型として「初」となる完全制御型野菜工場「Sagamihara Vegetable Plant（相模原ベジタブルプラント）」を開設しました。



- **食品製造工場直結**。収穫後の野菜を外気に触れることなく直接供給
- 閉鎖された環境での生産。天候気温に左右されず**安定的な収穫**が可能
- 虫や病気の心配がなく**無農薬栽培**が可能
- 種まきから収穫までの各工程において、**自動化技術**を採用（安川電機の技術）
- 光制御技術により**機能性(ビタミンC)**を付加（玉川大学との共同開発技術）

経済合理性と品質や安全性を担保した食の安定供給

# ■ フードバンクとの取り組み



※ 原則、菓子・加工食品のロスは発生しません（おにぎり・総菜は温度管理上、寄贈困難）



フードバンクとしては、維持・運営コストが大きな負担となっている

食品の提供だけでなく、フードバンクの応援になる方法はないか

## ■ フードバンクへの支援

### 2017年8月より、セカンドハーベスト・ジャパン様への支援を開始

社会課題を  
体験する  
チャンスです!

フードバンク  
「セカンド・ハーベスト・ジャパン」  
**ボランティア募集**



社員のボランティア参加



食品(店舗改装休業時)



日用雑貨・身の回り品

食に不自由をしている方は、日用品や身の回り品にも不自由をしている

商品寄贈  
3年間累計

寄贈雑貨の販売による運営資金への充当



【商品陳列棚】



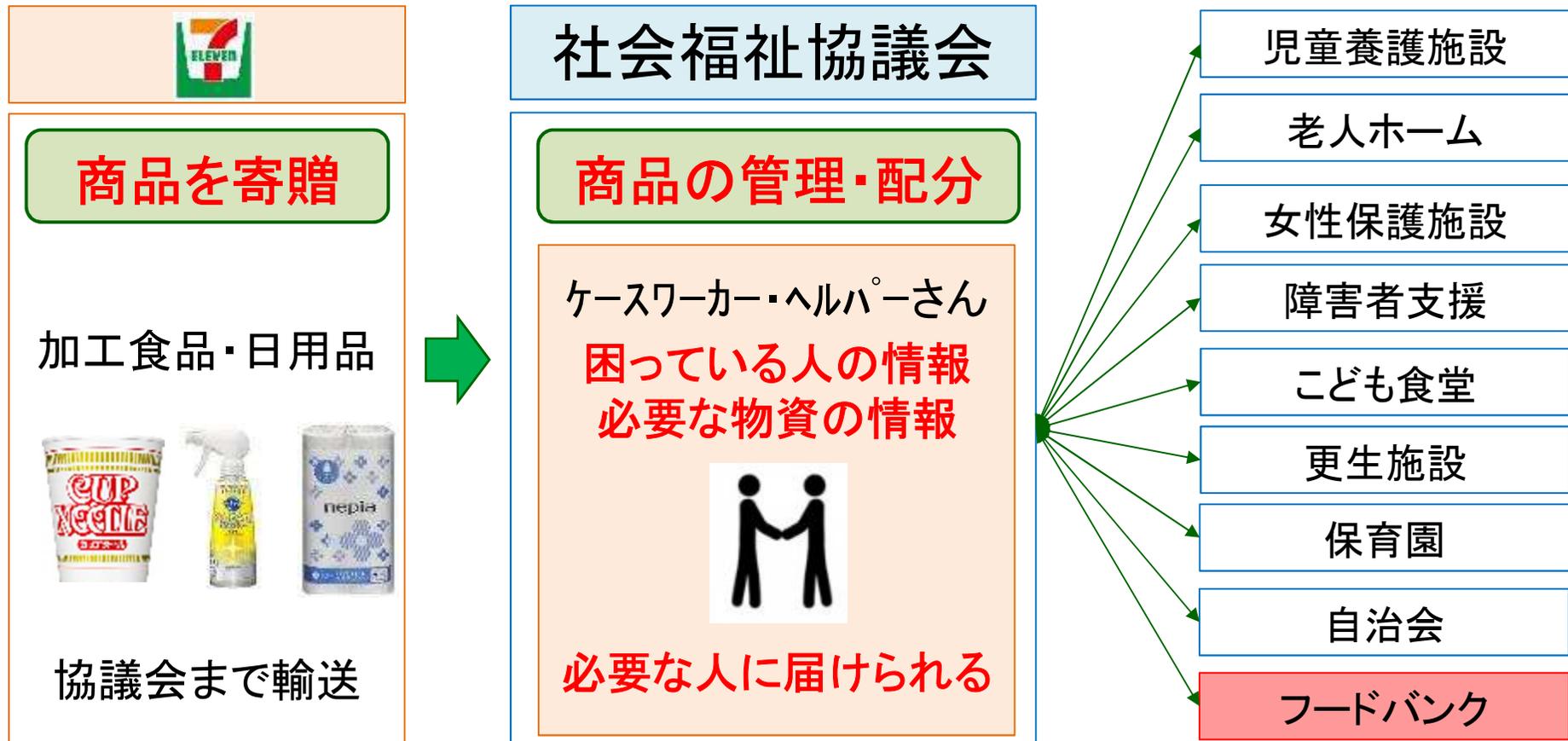
【nanacoカード】



【カードリーダー】

「食品」だけでなく、人や運営資金にもつながる支援を実施

# 社会福祉協議会様との連携



【社会福祉協議会】 地域福祉の普及推進と民間福祉事業やボランティア活動の推進・支援が目的。社会福祉法に定められ行政区ごとに組織。運営資金の多くが行政機関の予算措置による「半官半民」で運営。



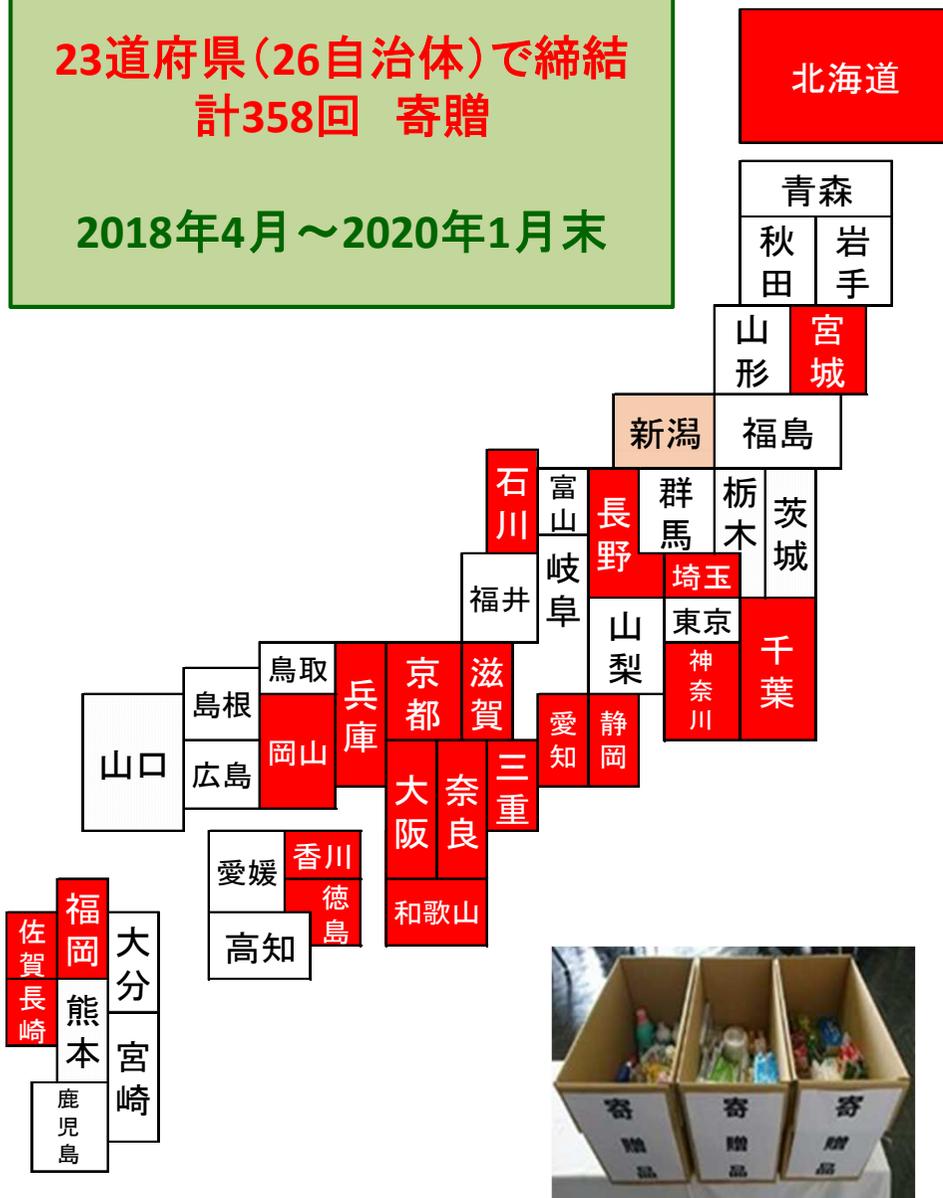
「食品寄贈」に終わらず、「必要な人」にお渡しが可能【貧困支援】

# 社会福祉協議会様への商品寄贈状況（2020年1月現在）



23道府県(26自治体)で締結  
計358回 寄贈

2018年4月～2020年1月末



No	地区	都道府県	協定先	協定式
1	京浜・西神奈川	神奈川県	横浜市	18年4月
2	兵庫・京滋	京都府	京都市	18年10月
3	岡山・四国	岡山県	岡山県	18年10月
4	兵庫・京滋	滋賀県	滋賀県	19年3月
5	千葉	千葉県	千葉市	19年3月
6	兵庫・京滋	兵庫県	神戸市	19年3月
7-9	関西	大阪府	大阪府、大阪市、堺市	19年2月
10	岡山・四国	香川県	香川県	19年3月
11	北九州	福岡県	福岡県	19年3月
12	埼玉	埼玉県	埼玉県	19年3月
13	北海道	北海道	北海道	19年3月
14	西神奈川	神奈川県	神奈川県	19年3月
15	関西	和歌山県	和歌山県	19年6月
16	東海	愛知県	愛知県	19年6月
17	北九州	佐賀県	佐賀県	19年7月
18	北九州	長崎県	長崎県	19年8月
19	長野・山梨	長野県	長野県	19年10月
20	岡山・四国	徳島県	徳島県	19年10月
21	関西	奈良県	奈良県	19年11月
22	新潟・北陸	石川県	石川県	19年11月
23	東北	宮城県	仙台市	19年11月
24	東海	三重県	三重県	19年11月
25	静岡・東東海	静岡県	静岡県	19年12月
26	新潟・北陸	新潟県	新潟県	1月16日



食品ロスもプラスチック問題も、サプライチェーン全体で取り組むべき課題

セブン-イレブンだけの商品を作る、セブン専用工場とチームMDがあるからこそ可能な挑戦

## 【安全・安心】

味・品質・栄養価  
長鮮度化・安全性  
健康増進への貢献



## 【社会インフラ】

シニア雇用  
見守り活動  
セーフティステーション



## 【環境対応】

食品ロス削減  
省エネルギー・省資源  
低炭素・循環型社会



ご清聴ありがとうございました

私たちは今後も  
持続可能な社会に貢献すべく  
変化への対応と挑戦を続けます